

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	企業組合 劇団風の子九州
公演団体名	劇団風の子九州

内容
<p>出演学年は、主人公の学年にあわせて、4年生。</p> <p>緊張を和らげるゲーム遊びの後、2チームに分かれての練習。</p> <p>① オープニングの洞窟の場面に登場するこうもりグループの芝居の練習。(定員6名まで。) —事前のワークショップが出来ない場合は、この場面の出演は無し</p> <p>② エンディングの海賊船の場面に登場する海賊グループの唄と踊りの練習。(定員40名まで。)</p> <p>③ 両チームで本番用の小道具、帽子の製作指導。 (こうもりグループは、手に持つこうもりの製作。海賊グループは、頭に被る帽子の製作。)</p> <p>④ 最後に、時間があれば、お互いの練習の成果を見合います。</p>

タイムスケジュール(標準)
<p>① ゲーム遊び 15分</p> <p>② あらすじ説明 15分</p> <p>③ 稽古、製作指導 55分(途中休憩有り)</p> <p>④ 発表</p> <p>3校時、4校時を使わせてもらいます。</p>

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
4人 内訳：オープニング場面、指導 2人、エンディング場面、指導 2人

学校における事前指導
<p>出演場面のDVDを鑑賞してもらい、イメージを膨らませてもらう。</p> <p>① テーマソングを覚えておいてもらう。</p> <p>※事前ではありませんが。ワークショップ時にご担当の先生に振付を録画していただき、練習の際にご活用いただけますよう お願いいたします。</p>

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	企業組合 劇団風の子九州
公演団体名	劇団風の子九州

演目
<p>このゆびと〜まれ！ 作・演出／あさのゆみこ 音楽・効果／曲尾友克 美術／山本佐助、小峯三奈 制作／仮屋祐一</p> <p style="text-align: right;">公演時間(75分)</p>

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
<p>出演者7名、舞台スタッフ1名、他<u>コロナ対策人員2名</u></p>

タイムスケジュール（標準）												
<p>前日仕込み(無) 会場設営の所要時間(3 時間程度)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み</th> <th>リハーサル</th> <th>本公演</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8:30</td> <td>8:30～11:00</td> <td>11:30～12:15 (午前4時限目)</td> <td>13:30～15:15 (午後5,6時限目)</td> <td>15:30～17:30</td> <td>17:30</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">↑</p> <p style="text-align: center;">*4時限目に出演する子どもたちとのリハーサルが入ります。</p> <p>※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。</p> <p>*午前公演(前後の日程により可能)の場合は、前日3時間程度の仕込、当日は、1時限目リハーサル、3,4時限日本番、15:00搬出完了</p> <p><u>*別日でのワークショップが無い場合は、リハーサル時間帯にワークショップ実施</u></p>	到着	仕込み	リハーサル	本公演	撤去	退出	8:30	8:30～11:00	11:30～12:15 (午前4時限目)	13:30～15:15 (午後5,6時限目)	15:30～17:30	17:30
到着	仕込み	リハーサル	本公演	撤去	退出							
8:30	8:30～11:00	11:30～12:15 (午前4時限目)	13:30～15:15 (午後5,6時限目)	15:30～17:30	17:30							

実施校への協力依頼人員

基本的に必要ありません。

演目解説

あらすじ

小学校4年生のヒロは、仕事で帰りの遅いお母さんの代わりに、近所の駄菓子屋のばあちゃん(スエコ)や大工のじいちゃん(銀蔵)に面倒をみてもらっています。ヒロの日課は、ばあちゃんの飼っている犬(鉄)の散歩に出かけること。その散歩はヒロの大好きな空想の時間。ある時は洞窟探検、またある時はヒーロー・ヒロに大変身。ある日、クラスで一番成績の良いマモルの様子がおかしいと思ったヒロは、マモルを空想の世界に誘います。喜ぶヒロに戸惑うマモル。空想の世界で大活躍の二人に友情が芽生えます。

上演にあたって

本来子どもたちは、空想の世界を遊ぶことや冒険が大好きです。そう、子どもたちは、現実と空想の世界を行ったり来たりしながら成長していきます。友達とコミュニケーションをとりながら、空想の世界を楽しみます。そのことは、自分を知り、他人を理解することにつながり、人間形成の上でも大きな影響をもたらします。しかし、現代の子どもたちにおいて、想像や空想をめぐる空間や時間がどれだけ保障されているでしょうか。このお芝居は、主人公ヒロの空想力が大活躍します。観ている子どもたちにも主人公と一緒に空想の世界をおもいっきり遊び、明日への希望に胸を膨らませてもらえたらと思います。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

- ① 参加する子どもたちの緊張を和らげ、観劇にもどっぷりはまってもらいたいので、あまりストーリーに影響のないオープニングとエンディングに参加してもらいます。
- ② 主人公の学年でもあり、もっとも乗りがよく、楽しんでくれそうな4年生に参加してもらいます。
- ③ 楽しんで参加してもらえるように、子どもたち自信の手作りの衣装や帽子をつけてもらいます。
- ④ 出演する子どもたちが舞台と客席をスムーズに移動できる場所に座ってもらう。
- ⑤ **出演する子どもたちには、マウスシールドを配布し装着してもらいます。**

児童生徒とのふれあい

- ① 終演後、質問や感想を言ってもらうことも可能です。—**実施しない**
- ② 入場の時、座席への誘導を出演者が行います。
- ③ 退場の時、体育館出口において出演者が見送ります。—**実施しない**
- ④ 要望があれば、リハーサルと本番との間で、参加する子どもたちとの給食交流が可能です。—**実施しない**
- ⑤ 終演後の集合写真も可能です。—**実施しない**
- ⑥ 高学年の子は舞台道具の balan に参加可能です。—**実施しない**